

【三重】中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は、ことし一年間のスローガンを「気に満ちる」に決めた。中田社長（50）は「気に満ちるとは、幸福感や満足感で満ち足りていること。『弱気』『陰気』『嫌気』などの悪い気を一つひとつ排除して『元気』『活気』『勇気』『やる気』などの良い気だけを残していけば、トータルで気が満ちる状態になる」と説明。年間の経営方針については「目先の投資やテクニクよりも社内外の満足度を上げていく。今期はそこそ

「気に満ちる」スローガン

こ良い業績になると思うが、管理面の精度アップに重点を置き、平常心で粛々とやっていきたい。普通のことを当たり前によれば、売上高と利益はついてくる」と話す。

新年早々、愛息の頑張り

中田商事

から経営のヒントをもらった。保護者会の会長を務める三重県立四日市中央工業高校サッカー部は、全国高校サッカー選手権大会でベスト4に進出。11日の準決勝で敗れたしたもの、次

息子の頑張りヒントに

男の永一さんは1ゴール1アシストの大活躍だった。

「昨秋まで息子はベンチにも入れないBチームだったが、県大会から試合に出始めると、瞬く間に急成長

なって平常心で努力を続け、徐々に良い気を満ちていったのではないか。会社の成長も同じだと思っ

た。永一さんの活躍は新聞などでも大きく報じられたため「最近はどこへ行ってもサッカーの話題になる」。



中田社長

年末年始は試合の応援で伊賀と東京を4往復した。

「正直言って疲れたが、私が見ていたことを息子そのまま実現してくれた。

し、何度もゴールを決めた。チームの下馬評は低く、全国大会出場も微妙と言われていたが、最後は素晴らし

いチームになった。一丸とう。結果が出れば、保護者として、経営者として発言に重みが増してくる。息子から大きな力をもらった」と笑う。

（星野 誠）